

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成 基準日	令和7年4月1日	作成担当部署	ふるさとプロモーション課	電話番号	52-2111	代表者	西村 賢	
名称等	名称	株式会社 日向サンパーク		所在地	日向市大字幸脇303番地5			
	設立年月日	平成14年1月8日		電話番号	TEL:0982-56-3800 FAX:0982-56-3805	ホームページ アドレス	<a href="http://hyuga-sunpark.com">http://hyuga-sunpark.com</a>	
資本金	50,000千円	設置目的	市民の憩いの場及び健康増進施設		事業(業務)内容	道の駅・オートキャンプ場・体育施設の経営・管理・運営		
役員 数及び 給与の状 況	役員		役員報酬総額 (千円)R6年度		有給職員(臨時・パート職員は除く) 総数		有給職員の 平均年齢	
	総数	うち市出向者・退職者数			うち市出向者・退職者数	職員給与総額 (千円)R6年度		
	7	0	0		3	0	53	
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)							
	項目		金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
			R4	R5	R6			
	①	運営補助金	4,514	3,114	3,114	道の駅日向の管理委託料		
	②	指定管理料	11,111	11,111	11,111	オートキャンプ場及び体育施設に係る管理料		
	③	貸付金						
	④	その他						
	合計		15,625	14,225	14,225			
	・短期貸付金残高							
	・長期貸付金残高		40,984	35,129	29,275			
合計		40,984	35,129	29,275				
(2)人的支援(人的関与)								
出資割合(92%)から市長が代表取締役社長に就任している。副市長が取締役役に就任している。								
(3)その他の取組(その他の課題)								
・指導・監督の強化		第三セクターに関する指針策定						
・情報の公開		日向サンパーク改革プランに基づく点検・評価結果の公表						
法人 自らによる 経営健全化 のため	経営課題	経営健全化策(具体的取組)			取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	施設別経営状況の明確化による経営改善対策。施設別に決算書を作成、施設別の収支を明確にする。			年度、月毎に施設別に決算書を作成しています。施設別に粗利や販管費の状況を確認分析し修正を行い、翌月、翌年に行き渡るだけ反映できるように努めています。特に物産館については、生産者販売手数料の見直しは出来ないにしても、仕入商品や食事について部門、種類、商品毎に利益率などを見直し行っています。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 月次決算は実施しているものの、利益率の具体的な見直しまでは至っていない状況です。農産物の仕入先確保は喫緊の課題といえます。また、財務分析の取り組みはあるものの、経営管理者には決算数値の理解をさらに深めてもらい、より実効性の高い経営改善策の推進が求められます。	
	経営体制強化策	会社の経営状況を社内で共有することにより、経営参画意識の向上に努める。			各社員に朝礼やミーティング、社内日報などで現在の経営状況を報告し情報共有を行っています。会社の取締役会や株主総会、会計事務所による月次報告などには社員を同行同席させ今後の施設運営に色々なアイデアや経費削減といった知恵を自ら出してもらえるように意識改革、経営参画意識の向上に努めています。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 経営参画意識は高まっており、十分な取組も見られますが、具体的な成果や経営強化にはまだ課題があります。ただし、提案や指摘があることは前向きな兆しであり、これを活かして今後の改善につなげるべきです。	
	収入増加確保対策	詳細な事業計画・収支計画を検討した上で、団体客の誘致や、企業の福利厚生施設としての利用、各種イベントの実施等で費用対効果の高い集客増を図り、収益増加・確保に繋げる。			年に数回、県外のバス会社と連携し、団体客の誘致に努めています。お土産物の選定や価格の交渉なども行います。キャンプ場においては、企業やフリーランスの長期滞在もあり、リモートでの仕事にもWi-Fi付きで最適だと思います。物産館では、年毎に内容を変えたイベントを実施しており、今年度は社会的に米や野菜の高騰があったことから、米や野菜の詰め放題などでイベントの集客が大幅に向上しました。収益についても協議会との共同開催で経費を問わず利益向上しました。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 現在の誘客活動については一定の取り組みが見られるものの、今後はより能動的な姿勢で、観光関連団体などへのアプローチも検討すべきです。また、利用客数や売上上の減少を踏まえ、単なる誘客対策にとどまらず、施設自体の魅力向上にも注力する必要があります。特に、全国旅行支援等の国の一時的な支援策が終了したことを考えると、持続的な集客策の構築が求められます。物産館の中で好評だった「野菜の詰め放題」は利用者のニーズを的確に捉えたイベントであり、こうした工夫は今後も重要です。一方で、農産物は競合施設とも共通する商品であるため、差別化を図るために魅力的な商品開発や独自のサービス展開を積極的に進め、集客力の強化につなげていくことが望まれます。	
	オリジナル商品・メニュー等の開発	(株)日向サンパークオリジナル商品やメニュー、企画の開発研究と販売に努める。			物産館の食事メニューで、独自のブレンドのへべすや新開発の日向夏ソースを使用したソフトクリームが年間を通じて人気です。季節限定で、へべすをトッピングしたうどんやパ、スカッシュも提供しており、独自色を出すように努めています。また、サンパーク新事業として、ウナギの加工販売を計画しており、日向独自の力で、ふるさと納税の返礼品や物産館での食事の提供、店頭販売での売り上げ拡大を目指します。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった へべす商品は人気があるものの、生産者や企業との共同開発の視点も検討する余地があります。一方で、ふるさと納税返礼品の拡大や新商品の開発に積極的に取り組んでいる点は評価できます。特に、うなぎの加工品は全国的に人気が高いものの、多くの自治体が競合しているため、差別化や認知度向上が重要です。オリジナル商品のメニュー開発に取り組まれていることが、前年度と比して売上状況の詳細な分析等を法人でも取り組んでいただき報告していただきたい。市の公式サイト活用に加え、法人側でも効果的なPR策を検討・実施していく必要があります。さらに、物産館だけでなくネット販売の拡大も視野に入れた経営計画の策定を期待します。	
情報発信	ホームページの更新、リーフレットのリニューアル			ホームページは随時更新中ですが更新頻度が少ないので新着情報をこまめにアップしたいと思っております。パンフレットについては、物産館会員のデザイナーに依頼し作成したので配布場所を広げていきたいと考えています。インスタグラムのフォロワー獲得のために外部のプロ人材と契約予定で今後投稿していきます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった SNSによる情報発信は行われているものの、フォロワー数が少なく、主要な来場者層である高齢者にはあまり届いていない状況です。このため、アナログな営業活動や関連団体との連携など、多様な手法を組み合わせた情報発信が必要です。また、SNS対策を効果的に進めるためには、専任担当者の設置や社内での継続的な意識づけが重要です。加えて、情報更新の遅れが以前から課題となっているため、外部委託や地域おこし協力隊の活用など、体制強化策の検討も求められます。		

の 具 体 的 な 取 組	利用者アンケートの実施	アンケート調査により利用者のニーズや施設や経営に対する改善点を抽出する。	キャンプ場、物産館に紙のアンケート用紙を設置し、利用者のニーズ、要望の把握、各施設への反映に努めました。新たにサンパークを利用したことのない方々を対象にしたニーズ調査を設け、各施設のアンケートを合わせてデジタルアンケートを作成しInstagramにて公開しています。今後、集計結果を年度毎にまとめ各施設に反映させて行きたいと考えています。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった アンケートは要望や苦情への対応に活用されているものの、売上改善への効果は限定的です。昨年の委員会でも、紙媒体だけでなくスマートフォン等を活用したデジタル対応の重要性が指摘されており、今年度はその取り組みが着実に進められている点は評価できますが、回答数が非常に少なく、施設を利用しない方向向けのアンケート収集なども行いつつ、回答促進のための要因分析と対策が必要です。					
	社員の資質向上	各社員の能力を向上させることにより、営業経費の低コスト化、短時間での対応、高品質なサービスの提供を目指す。	現在日々行っている仕事に責任ある仕事を付け加える事により、仕事に対する責任感や能力の向上を各個人に求めました。パソコン作業のスキルアップや仕入業者・ふるさと納税の委託業者との交渉、クレーム対応などがあります。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 社員のモチベーション向上には、経営管理者自身もリーダーとして学び続けるため成果指数を設けるなどの姿勢が不可欠です。経営管理者層を含めた組織全体で資質向上に取り組む必要があります。					
	契約の見直し	業務委託や物品購入については、業務内容や契約内容の見直しを随時行い、入札制度を用いる等、経費の削減に努める。	人件費や物価上昇で委託業者も契約金額を上げざるを得ない状況の中で安全管理費や衛生管理費、樹木管理費など前年度と同額で契約できています。車両保険など見直しできる部分については削減しています。長年の劣化や故障でやむを得ず更新した冷蔵庫、レジ、パソコンなどのリース料が増えています。物産館のトイレ清掃の契約については高騰幅が大きいため契約解除し、地元の方を採用して地域貢献と経費削減に努める予定です。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 物価高の中、人件費や業務委託費の適切な価格転嫁が必要ですが、経営経費の削減が難しいことも踏まえ、質を落とさずに対応策を検討する姿勢は評価します。一方で、取引先に過度な負担をかけないよう、妥当な価格設定と安全面や業務効率を考慮したコスト管理が求められます。施設管理の質を維持しつつ、引き続き検討を進めてください。					
	物件費の削減	省エネ対策(節電)・水道使用料(節水)を実践し、経費の軽減を図るほか、全ての経費について節約に努める。	サンパーク公園内や物産館トイレの漏水により水道代が30%増えました。年間を通じて節水を心掛けていますが、配管の老朽化など対策ができていないところでの経費の上昇は手の打ちようがありません。自分達ができる、広告宣伝費や事務用品費、消耗品などにつきましては購入商品などを絞り必要最低限で対応しました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 現在の経費削減は限界に近く、ガス温度を下げるなどの努力はしているものの、費用は依然として上昇しています。経年劣化による修繕費の増加は避けられないため、これを予算に組み込み、計画的な資金管理を行うことが重要です。また、経費管理にあたっては、単に前期との増減だけでなく、予算と実績の比較分析を行う視点が必要です。今後の対応策については、これらの点を踏まえた計画的な運営が求められます。					
	人件費の抑制	各部署の職員体制並びに勤務体制等を検討し、効率的な人員配置と経費抑制に努める。	スタッフの退職が相次ぐ中、思うように人員補充も出来ず人員配置・勤務体制が整わない1年でした。そのような中で残された職員自ら他部署への応援、仕事の幅を広げ解決策を見出してシフトを組み窮地を凌ぎました。それでも繁忙期・繁忙時間帯でお客様の対応が必要な場合は残業してもらい接客の質を落とさない様に努めました。仕入値、物価・光熱費の高騰に人件費の上昇もありましたが、前年と比べて人件費は約5%減少しています。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 人員不足の中、配置の工夫や繁忙期の人員確保により運営が行われており、一人ひとりが責任感を持って業務に従事しています。この状況で人件費抑制を課題とするのは現実的ではなく、今後も人件費の増加が見込まれる中で、売上増加や収益向上を目指すことが重要です。また、人材確保には社員研修や働く意欲の向上を図る取り組みが必要です。人口減少による人員確保の難しさを踏まえつつ、無駄の削減や効率的・効果的な経営に引き続き努めてください。					
市 よ る 財 政 的 な リ ス ク 対 処 の た め の 具 体 的 な 取 組	アンケートの実施	サンパークの改善事項を把握し、信頼される会社経営に向けて取り組む。	利用者から要望が多かった草スキー場の改修について、他施設へ聞き取り調査を行い、令和7年度の工事実施を計画しました。ゴミ置き場の屋根設置、コンセント位置変更、遊具補修等を要望を受け実施しました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった アンケートを活用した要望へのこまめな対応により、利用者からの信頼度が向上しています。今後もこの姿勢を継続し、より魅力的な施設づくりに努めてください。					
	効率的な経営環境の整備	利用者ニーズや経営体制等を考慮しながら、効率的・効果的な営業形態がとりやすい環境を整備するため、条例等の改正や各種計画への位置づけを行う。	ドッグランの登録について簡易的にするよう要望があり、登録・受付方法について他施設の調査を行いました。安全な利用のため変更は行いませんでした。エアコンや水廻りのトラブルについては早急に対応しました。利用料金の変更は、利用状況等を見ながら、検討していきます。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 手続きは煩雑ながらも安全性を重視している点は評価できます。一方で、ドッグランの利用者数減少を踏まえ、同種の他施設と比較・分析し、安全面や法的規制の制約の中で利用者ニーズに応えるための工夫を検討する必要があります。また、市と連携し、他自治体の取り組みを研究・参考にすることも重要です。					
	修繕計画	施設の修繕計画を策定するとともに、予算の確保に努め、定期的に点検しながら計画に沿った更新に取り組む。	日向サンパークオートキャンプ場のコーテージ外壁の塗装工事、エアコン、遊具等の修繕を行いました。また、予算削減のため軽微な修繕は職員で行いました。令和7年度はキュービクル改修等、令和8年度にケーブル改修等を実施予定です。今後必要な財源を確保し、計画的な施設更新に努めます。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 概ね定期的な点検や計画的な修繕の実施が進められているようですが、中には突発的な修繕対応も行われています。今後とも、施設の老朽化が進む中で、維持管理や更新計画を法人と共有し、積極的なコミュニケーションを図りながら計画的かつ適切な対応を進めていくことが求められます。					
	適正な契約	指定管理者制度による協定と業務委託契約を精査し、適正な契約内容と経費を確立し、管理責任の明確化を図る。	外部委託等の過年度実績を踏まえながら、指定管理料、管理業務委託の精査を行いました。設備、備品更新の一部は、会社対応としました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 物価や人件費の高騰への対応が遅れているため、契約更新時にはこれらの変動を反映させる必要があります。また、市は経営への関心を高め、より積極的に関与すべきです。物価上昇局面では長期契約による価格固定が事業者にとってリスクとなるため、施設側と密にコミュニケーションを取り、状況を的確に把握し対応に努めてください。					
財 務 状 況	貸借対照表	金額(千円)			項目	金額(千円)			
		R4	R5	R6		R4	R5	R6	
		資産合計	33,062	35,869	34,483	経常収益	209,123	123,337	122,582
		負債合計	69,029	63,660	56,966	うち市からの補助金・委託料	14,225	14,225	14,225
		資本合計	-35,966	-27,791	-22,484	経常費用	203,463	116,063	117,865
		累積欠損金	-85,966	-77,791	-72,484	経常利益(損失)	8,486	8,384	5,516
						当期利益(損失)	8,278	8,175	5,308

		成果指標(数値目標)		R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績	R7目標			
指標関係	財務指標	流動比率(%)		96.08	108.43	119.95	100以上	119.97	100以上			
		損失補償		0	0	0	0	0	0			
		短期貸付金		0	0	0	0	0	0			
	活動指標	経常利益		1,501	8,486	8,384	11,201	5,516	12,321			
		利用者数(人)		134,901	155,630	158,957	176,229	156,423	193,852			
		温泉館客単価(円/人)										
		物産館売上額(千円)		154,727	186,865	97,281	211,170	98,523	221,730			
オートキャンプ場稼働率(%)	オートキャンプ		12.4	21.4	26.5	29.2	24.9	30.6				
	コテージ		9.8	20.1	21.0	23.4	20.8	24.6				
	ログハウス		6.0	9.5	10.0	9.9	6.7	10.4				
財務・活動・成果指標取組結果		<p>利用者数は令和5年度と比べ2,534人減少しました。道の駅日向物産館が1,313人の減、オートキャンプ場が984人の減となり、目標数も19,806人下回りました。主な要因としては、断続的な週末の天候不良や、繁忙期のお盆時期に日向灘地震が発生し南海トラフ地震臨時情報が発表されたことによる利用客の減少などが考えられます。財務状況としては売上高で122,583千円、前年比754千円の減となっています。営業利益につきましては、4,717千円となり、前年度比2,558千円の減となりました。当期純利益につきましては5,308千円、前年比2,869千円の減となりました。物産館におきましては、店内売場の改修やQRコード決済などを導入しお客様の利便性向上に努めました。また、仕入価格上昇分については販売価格転換に努めましたが、委託商品の減少などが影響していると考えられます。また、人件費上昇に対応するためスタッフの補充を行わず少ない状況でシフトをやり繰りしながら営業を行いました。年度末にニーズ調査、各施設のデジタルアンケートを立ち上げ、お客様や一般市民のニーズの収集を行い、各施設や今後のサンパークのあり方等に反映させていきたいと考えています。</p>										
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>市は地域の観光業界や農業関係者と連携し、支援やアドバイスを強化しつつ、法人においても営業活動など可能な範囲で引き続き経営健全化に向けて注力する必要があります。ふるさと納税返礼品の売上は伸びていますが、他自治体では手続きの不備事例もあるため、公正な取引や法令順守に慎重を期すことが重要です。また、利用者減少の要因を多角的に分析し、物産館の委託商品減少や生産者減少への危機感を持って柔軟な対応策を検討してください。物産館の売上は安定しているものの、キャンプ場などの他施設は利用減少が続いています。人口減少を踏まえ、市はサンパークの抜本的な見直しやダウンサイジングも含め、集客率のアップにつながる事業の開発や売上を上げていくための工夫等の検討も必要です。スマートフォン活用によるアンケート実施などデジタル化は進んでいるものの、情報発信やアンケート回収が不十分で、利用者の関心を維持できていません。情報更新の強化やSNS運動のインセンティブ導入などによりアンケート数を増やし、利用者ニーズを活かしたサービス改善・商品開発を進めることが、今後の持続的発展につながると思われます。</p>											
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	B	⇒ A	経営努力を行いつつ事業は継続								
			⇒ B	事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要								
			⇒ C	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要								
			⇒ D	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要								
第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見	今後の方向性	イ	⇒ A	経営努力を行いつつ現状のまま存続								
			⇒ B	事業内容等の見直しを行った上で存続								
	⇒ C		再建を行いつつ存続									
	⇒ D		廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡									
	⇒ E		その他( )									
	⇒ F											
	市	今後の取組について		<p>人件費や物価の上昇に伴い、指定管理料の上限額の見直しを行いました。令和8年度には指定管理者の公募が予定されているため、業務内容を抜本的に見直し、適正な経費での契約を目指します。また、キャンプ場等の利用料金の設定については、近隣市町村の類似施設の状況を調査しながら見直しを検討します。一昨年も記載しているので早めの検討をお願いします。数年前と比較して場内の植栽管理が不十分となり、景観が損なわれている状況が見受けられるため、指定管理者に対する指導を強化し、来場者に喜んでいただき、再び訪れたいと思っただけのような施設運営について、市と法人が連携して取り組みます。温泉施設については、民間による再開を断念することを決定したため、今後の活用については日向サンパーク全体の活性化につながる方策を検討します。日向サンパークの浄化槽維持管理・法定検査、自家用電気工作物・消防設備点検については、責任の明確化を図るため、令和8年度から市が発注することとします。令和7年度は、高圧受電設備、フェンス、遊具等の改修工事を実施するとともに、道の駅日向物産館のテナント出店に合わせて空調工事を行いました。今後も法人と情報を共有し、計画的な維持管理に取り組みます。</p>								
				<p>物産館は生産者や仕入業者、商品内容・数等を増やした事から令和6年度を上回り好調を維持しています。今後も一部店内設備を一新させるなど設備投資を行い、魅力ある道の駅運営に取り組んでいきます。さらに、令和8年3月からテイクアウト専門のテナントが入居する予定で、若年層・ファミリー層の来館者を増加させ、物産館のPR及び商品販売などの相乗効果をテナント料収入を含め期待をしています。一方、減少傾向が続いているキャンプ場については、令和7年度よりSNS管理代行契約している外部の専門業者に委託し、施設紹介や実際のキャンプ動画などを配信しながら、遊具や体育施設などと一緒にフォローや閲覧数、動画再生回数の獲得を行い、パンフレットやホームページと併せて集客向上を目指すとともに、利用者ニーズを収集しサービス改善や新商品開発に繋げていきます。物価高騰や人件費の年々の上昇により販管費の削減は容易ではありませんが、清掃業務などの契約の見直しを随時行い、経費削減に努めます。令和7年からの新事業としてふるさと納税の返礼品を軸とした鮫加工販売を開始しました。まだPRが十分でなく、満足のいく結果は出ていませんが、メインの夏場の需要や年末の駆け込み需要を取り込めるよう、日向市及びふるさと納税委託業者と連携し、寄附額向上に取り組めます。また、ふるさと納税の返礼品にとどまらず、物産館内での販売や食事メニューの追加、外部業者への展開にも力を入れ、販路拡大を図ります。今後も経営健全化計画に基づく取り組みを着実に実行し、改革プランで設定した目標値の達成に向けて経営改善に努めます。</p>								
日向サンパーク株式会社	今後の取組について											
その他特記事項												